

第3学年 国語科学習指導案

平成28年 5月23日(月) 第5時限

1. 単元名 学びて時にこれを習ふ―「論語」から―

2. 単元設定の理由

「論語」は、中国古代の思想家孔子やその門人たちの言行を、孔子の死後まとめたものである。論語の中には現代の私たちに通ずる考え方や、考えさせられたり、励まされたり、反省させられたりする言葉が数多くある。本単元では「論語」を取り扱い、進路選択を控えた3年生が、「論語」の中から、孔子の言葉と自分の生活や経験と重ね合わせて考え、中学校学習指導要領「C 読むこと一エ」の自分のものの見方や考え方を深めることをねらいとしている。生徒はこれまでに1年生での故事成語、2年生での漢詩の学習の中で文語のきまりや訓読の仕方を学習している。本単元での学習は、2年生までの学習を生かして訓読を行い、孔子の考え方に迫っていく。基礎的な訓読の反復学習や音読を通して、漢文特有の文体に慣れさせるとともに、論語に親しめるようにしたい。

本学級の生徒は、明るく素直な生徒が多く、国語の学習では、基礎的な学習については進んで取り組み、積極的に級友に伝え合うことができる。また、学級活動などでのグループ活動に慣れており、活発な意見交換を行い、話し合って意見をまとめることができる。しかし、発展的な課題については、はじめからあきらめてしまい、集中力が欠ける場面も見られる。今回学習する「論語」は、2年生の3学期に「言葉の力」の単元で紹介しており、「論語」がどのようなものか生徒たちは理解している。漢文の読解については、基礎が定着している生徒と、そうでない生徒との二極化が見られるため、学び合い学習や個人的な支援を行いながら学習を進めていく。

指導にあたっては、学び合い学習を取り入れ、発展的な課題にも最後まであきらめずに取り組めるようにしたい。また、直訳的な解釈ではなく、現代の自分たちが聞いて納得させられるようなものになるよう、辞書を活用したり、グループ内で現代語訳を比べたりして、それぞれの学びが深まるようにしたい。

3. 単元目標

【関心・意欲・態度】孔子や門人たちの生き方や考え方について、自分たちの生活と関連付けて考えることができる。

【読むこと一ア】訓読の仕方を確認し、文脈における語句の意味を捉えながら漢文特有の文体に慣れる。

【読むこと一エ】「論語」を読み、孔子の人間の生き方についての観察や思索を捉え、自分のものの見方や考え方を深めることができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項一ア】「論語」について基礎知識を持ち、「論語」に親しむ。

4. 単元の指導計画（全4時間）

- 「論語」や訓読の既習事項について確認しながら音読を行う・・・1時間
- 教科書の三つの章句について現代語訳を行う・・・・・・・・・・1時間
- 語句の意味を漢字から類推して、現代語訳を行う・・・・・・・・・・1時間（本時）
- 多くの論語に触れ、内容を捉えて友達に紹介する・・・・・・・・・・1時間

5. 本時の目標

【読むことーア】文脈における語句の意味を類推し、はじめて読む文章でも、内容を捉えることができる。

6. 学び合い活動の場面

展開③において、グループで解法を確認しながら書き下し文にする。展開④では、伝える相手を意識しながら語句の意味を類推し、現代語訳を作る。

7. 準備物 教科書

8. 本時の展開

学習内容	学習活動	支援と指導上の留意点	評価
① 本時の学習の目標	<p>目標：はじめて読む文章でも、現代語訳ができるようになる。</p>		
② 既習事項の確認	<ul style="list-style-type: none"> 音読し、訓点の決まりについて確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き下し文に頼るのではなく、訓読文を見ながら音読させ、返り点などに慣れさせる。 	
③ 共有課題 【学び合いの場面】	<p>課題：訓読文を書き下し文にしよう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 訓読文を書き下し文に直す。 学習班の中で一人ずつ発表し、確認してから全体で共有する。 	<p>「学習班（グループ）」にさせる。</p> <p><個別支援の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> 訓点の決まりをもう一度確認させる。 	
④ ジャンプ課題 【学び合いの場面】	<p>課題：小学校6年生にも意味が伝わるような言葉にかえて、現代語訳に挑戦しよう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の意味を類推しながら、一人が一つ現代語訳を作り、ノートに書く。 	<p>「学習班（グループ）」にさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望した生徒には辞書を使わせる。 <p><個別支援の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> 類推する語句と、教科書の注釈とを対応させて考えさせる。 <p><個別支援の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分だけが理解できる文に訳すのではなく、対象に合わせた現代語訳ができるよう促す。 	<p>漢字の意味を類推しながら現代語訳をすることができる。</p> <p>【読むことーア】 (発表、机間支援、ノート)</p>
⑤ 全体での発表	<ul style="list-style-type: none"> それぞれが考えた現代語訳を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> （「コ」の字）にさせる。） 	
⑥ まとめ	<ul style="list-style-type: none"> はじめて読む文章でも、訓点の決まりを守り、漢字から類推することで意味がわかることに気づく。そして、孔子の言葉は現代の私たちの生活にも関連させて考えられる言葉であることを知る。 今日の授業の感想をノートにまとめる。 		